

2021年8月20日

柏市長 秋山浩保様

日本共産党柏市議会議員団

現実化した医療崩壊に立ち向かう大災害時の対応を

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ（第16次）

新型コロナウイルス感染症の拡大は、全国的にも柏市においてもまさに感染爆発の様相を呈し、救えるはずの命が救えない医療崩壊が現実化しています。本市が19日に発表した、感染した30代の女性が入院先が見つからないまま、誰の見守りもない中で自宅で出産し、新生児が死亡した事例は全国に衝撃を広げています。

いままさに医療崩壊に立ち向かう大災害時の対応が求められています。以下緊急に対応を要望いたします。

- 1, コロナに感染した妊婦の出産に向けた体制の構築と、今回の事案を検証し教訓を導き出し、再発防止に全力であたること。
- 2, 政府に対して「原則自宅療養」の方針を撤回するよう求めるとともに、パラリンピックの中止を申し入れること。
- 3, 医療機能を強化した宿泊療養施設や臨時の医療施設の増設・確保を国・県に求めるとともに、市独自に早急に開設すること。
- 4, 急激に増えている自宅療養者と濃厚接触者に、適切な医学的管理、健康観察、生活支援が行えるよう、柏保健所の体制をさらに抜本的に強化すること。
- 5, 学校、保育園、こどもルーム等でのPCR検査、抗原検査を教職員を含めて定期的に実施すること。